

No. 8 2024年1月21日

公現後第三主日礼拝  
説教『ただイエスのお言葉をください』

山根眞三師  
司会 高橋圭子さん  
奏楽 栗原登志子さん  
招詞 ローマ人への手紙1章14～17節  
の祈 (564)  
讃詠 5 4 6  
交読詩編 詩 8 6 編  
祈禱 美歌 21-1 5 1  
使徒信条 (566)  
聖書 マタイ福音書 8章 5～13節  
説教 (口語訳6頁、新共同訳6頁)

『ただイエスのお言葉をください』

祈禱 美歌 2 8 4  
献金 謝告 報栄 5 3 9  
祝 禱 奏

次週の礼拝(公現後第四主日礼拝)  
説教『イエスの姿が変わったのだが』  
マタイによる福音書17章1節～9節

招詞 IIコリント 4:6～10、交読詩篇135編  
讃美歌 546、21-285、505、540

礼拝当番  
今週 21日 司会 高橋さん 献金 剛家さん  
次週 28日 司会 根角さん 献金 高橋さん  
会堂清掃奉仕 1月26日(金)  
午後4時～ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分  
★コーヒータイム 礼拝後～  
密にならずそれぞれの思いを語り合しましょう。

今週の集会/スケジュール

外国人住民基本法制定を求める全国キリスト者集会  
全国協議会公開集会 1月25日(木)18:30～20:00  
報告:栗林克行さん、講演:渡邊さゆりさん  
堀川恵子さんとの懇談協議 1月25日(木)13:00～  
めぐみ幼稚園誕生礼拝 1月26日(金)10:00～  
外国人住民基本法制定を求める全国キリスト者集会  
1月26日(金)18:30～20:00 於:広島バプテスト教会  
お話し:今給黎眞弓牧師(豊中バプテスト教会)  
ピアノ演奏と証し:崔 善愛さん

次週以降のスケジュール等

広島キリスト教一致祈禱会 1月28日午後2時～  
講師:三谷高康先生(広島女学院理事長・学長)  
会場:カトリック観音町教会  
めぐみ幼稚園ほっと座 1月29日(月)10:00～  
★2月定例教会役員会 2月4日(日)礼拝後～2時  
教務・教勢報告、会計報告、12月分会計報告  
教会役員の仕事と健康を覚えてお祈り下さい。  
広島県教誨師会役員会・研修会・懇親会 2月6日  
(火)15:30～19:00 会場:ANAクラウンホテル  
★建国記念の日を問う広島集会 2月11日(日)  
14:00～16:00 会場:カトリック教会多目的ホール  
講演:象徴天皇制について語り合いませんか  
講師:大田伊杜子さん(援助修道会シスター)  
★西中国教区信徒大会 2月12日(月)13:30～16:30  
★灰の水曜日 2月14日(水)この日から受難節が  
始まり、祈りの中に3月31日のイースターを待ちます。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	4	9	13
レコードコンサート	4	3	7

◇今週の説教要旨(公現後第三主日礼拝)

『お言葉をください。そうすれば…』マタイ8:5～13  
教誨で孝行さんが語った。支配とは支えを配ることではないのだろうか。支配者とは支えを人々に配られるのですよね。ローマ帝国の百人隊長は私たちの想像を超えた支配力にある人だ。そんな力がある方が、ご自分の僕一当時の社会で言えば奴隷として百人隊長の家庭に仕えていた人ーが中風で寝込んで苦しんでいた。当時の階級社会ではこのような場合どうしたのだろうか。支配力を持った人がユダヤ人に頭をさげるようなことをしたのだろうか。普通なら役に立たなくなった奴隷は、病気のままで捨てられても仕方がなかった。しかしこの百人隊長はそうではなかった。支配する立場にあった彼は、ユダヤ人であるイエスに頭を下げた。イエスは彼の僕への関係性の故に、百人隊長の思いを受け、家に行って癒してあげようと言われた。こんな率直なイエスの姿は殆ど見られない。それ程にイエスはこの百人隊長の僕への姿に心動かされたのだろうか。ところが彼はイエスの癒しの来訪を辞退した。たとえ百人隊長の家であったとしても、ユダヤ人が異邦人の家に入ることは律法で禁じられていた。イエスのこの言葉におそらく弟子達には驚きを禁じ得なかったと思われる。百人隊長とイエスのこれらの交感はしっかりと覚えられなければならない。教会暦ではなお公現日の影響にある日々だ。異邦人へのイエスの愛の姿が強烈に見える。他方、ユダヤ人の生活習慣を熟知していた百人隊長はイエスが自分の家に入ることを問題を熟知していた。だから彼はイエスの来訪を辞退し、言葉をのみを求めた。その理由がいかにも豊かで鋭いかが百人隊長によって示され、イエスはそれこそが信仰そのものだと。ユダヤ人への最大限の配慮とイエスへの深い信頼、信仰が表された。お言葉を下さいと求めたその背景には、単に宗教的な信仰だけではなく、人間互いの信頼と愛が生きていた。